



第 3 8 号
2013 年 3 月 29 日



埼玉県合唱連盟
〒330-8557 さいたま市浦和区常盤4-12-13
(朝日新聞さいたま総局内)
TEL 048-824-8161
FAX 048-831-5310
<http://saicl.net/>

創立55周年特別企画

歴代理事長大いに語る

「これでいいのか連盟事業」～これからの合唱連盟を考える～

埼玉県合唱連盟は今年で創立55年目を迎えました。そこで、記念の企画として、去る2月3日(日)ブリランテ武蔵野において「これでいいのか連盟事業」～これからの合唱連盟を考える～というテーマで歴代理事長座談会を実施しました。以下にその概要を掲載します。

出席者 田尻明規 元理事長・小高秀一 元理事長・宮寺 勇 前理事長・北川 裕 現理事長
新祖 章 副理事長(司会)・宮野善也 事務局長

コンクールについて

司会 はじめに、コンクール再編について。来年度から、大学・職場・一般と分かれていた部門を一つにして、大学職場一般部門とし、その中に編成区分ということで、大学ユース・室内・同声・混声の4つの部が設けられます。他に高等学校についてはA・Bグループの見直し、中学校では課題曲の設定をするかどうかという問題などがあります。コンクールのあり方について、埼玉県としてどうしていけば良いか、ご意見をいただければと思います。

田尻 連盟役員から離れて、少しずつ外から見られるようになりました。

一番問題と感じているのは大学ユースの部で、私の教え子の所属する合唱団は30代と20代が一緒に活動しているので、気にかけるところです。

司会 4月1日現在で28歳以下であることが条件で、名前と年齢を書いた名簿の提出を義務づ



けるそうです。

田尻 年齢を正しく出せますでしょうか。

宮寺 保険証でも出さない限り厳密でないですよ。ね。

司会 小高先生はいかがですか？

小高 県の加盟団体数によっては、ある部門がとも少ない出場団体数になると思いますが、どういうふうに関東・全国へ選出されるのですか？

司会 関東から全国への選出方法は検討中ですが、部門にとらわれずトータルで選出していく方

向になりそうです。

宮寺 審査員をジャンルごとにノミネートして投票するというシステムはいいと思うのだが、そろそろ指揮者だけでも良いのではないかとと思うんです。ピアノコンクールではピアニストが、作曲家コンクールでは作曲家が審査をされますよね？「合唱指揮者」でなくても、「指揮者」というふうに限定した方が良いのかな、という思いが出てきています。

もう一つ、SVECで若い（中学生など）世代が一般の部に出てくるのが気になります。

司会 SVECのユースの部の対象は、今は下限が中学卒業以上です。以前は高校卒業以上だったのですが、現役高校生がいるとユースの部に出られず、一般の部に出ざるを得ないため下限を低くしました。

宮寺 「かなわないよね」という声（指導している一般合唱団の）団員からありました。

事務局長 今も中学卒業以上ということなので、現役中学生がいると一般になってしまいます。

宮寺 私の中での一般の部は、おとうさん・おかあさん合唱団の活躍の場



ととらえています。（現状ではまだ）本当の意味での一般合唱団が戦えない。

（中学生と、おと

うさん・おかあさん

は）同じ土俵ではおかしいというイメージをもっています。SVECも、コンクールと同じように下限を設けないようにしてほしいですね。

司会 （コンクール部門再編の）現状では、1人でも28歳を超えるメンバーがいたらユース以外の3部門（室内・同声・混声）に出演せざるを得ない状況ですので、25年度の様子をみて今後の判断をしていくことになると思います。

宮寺 おかあさんコーラスのように、「何パーセン

トを占める」という規定にしてもいいでしょうね。（一般、ユース、ジュニア）全然スタイルも違うし練習方法も違うから。一般の市民合唱団にももう少し目を向けてほしいですね。

司会 ここまでご意見をいただいて、北川理事長はどうですか。

北川 埼玉県は小学校の参加がなかなか増えません。NHKコンクールは参加料が無料なこともあって参加が多いようですが、県のコンクールへの参加団体は少ない現状です。もう一つは大学がなかなか活性化しないこと。中学・高校は毎年全国大会に出演していますし、昨年度は5校出演で栄東中学校は1位でした。それだけに、中学・高校以外の団体と今後どのように関わっていくかが課題です。

田尻 再編によって部門が変わるわけですが、具体的には部門ごとに選出の仕方は決まってくるのですか？

司会 先ほども申し上げたように大学職場一般部門については、編成区分ごとに選出するのではなく、大学・ユースだけは別で、室内、同声、混声をトータルに見て選出という方向性です。県の方向性については関東の要項が固まった段階で結論を出します。

北川 県では出演団体数が関わってきますね。

宮寺 例えばコンクール高校部門の関東から全国への推薦は、A団体B団体がそれぞれ何団体出演するから何団体推薦枠があるという計算ができる選び方じゃないですよね？出演者側にとっては曖昧な感じがしますよね。一般部門もせっかく室内・同声・混声と部門を分けるなら、推薦枠を配分してあげたほうがはつきりはしますよね。難しいところですけどね。私は、全日本が決めた方法に従うのがいいのかなと思いますし、本来なら統一されていたほうがいいかなという気がします。

田尻 その通りですが、実際には演奏に差が出てしまうことも考えられるよね。そういうところが難しいですね。

おかあさんコーラスについて

司会 埼玉はこれまでコンクール化をせずに、抽選で関東支部大会の出演団体を決めていました。しかし色々なご意見があって、2回のアンケートを集約して、一部選考を取り入れるという話をちょうど今日（2月3日）おかあさんコーラス大会打ち合わせ会でしてきたところです。今後の課題などについて、ご意見をいただければと思います。

田尻 私が指導している団でも話をしていましたが、やっぱり意見が分かりますね。ただ私は、「コンクール」だけをやってほしくないという意見につきますね。審査員が上位から何団体かを選び、あとは抽選というやり方の県もあります。その辺は、みなさんどうでしょうか？

小高 僕の指導する合唱団では、「なんでそんなに早く抽選で決めてしまうのか。抽選に落ちると、練習のやりがいがない。」という声があります。選出については「半分はコンクールで、あとは抽選がいい。」という意見が強いです。もう一つ、パフォーマンスで評価が良くなることはないの？

北川 埼玉はパフォーマンスは重視してないです。

田尻 全国は評価しているようですね。

小高 団員が「先生、踊り入れましょうか？」って言うんだよ。ただ、踊りがうまかったからというので評価されるのは良くないですね。

宮寺 芸能大会になってしまいますよね。

小高 全国大会に行ったときは踊りましたけどね。
(笑)

宮寺 ところで、県連顧問のある先生から、早くコンクール化してほしいといった手紙を受け取りましたが、連盟としての対応はどのように

しましたか？

北川 アンケートを集約し、意見をまとめて経過を伝えています。

宮寺 非常に難しいですね。埼玉のスタイルというのは「おかあさんコーラスはコンクールではない」ということで、シンプルな形をとってきましたから。ところが、他県、関東、全国がコンクール方式を取り入れている。以前関東大会に行ったときに、ある先生に「埼玉県は上手じゃなかったね」と言われてしまったことがあるので、「これはコンクールなの？」と思わず言ってしまいました。「誰が出て良いでしょ？」という思いがありましたから。

アンケートの結果で、半分为選考といったような対応が良いという意見が出ていますよね。でもそうすることによって、抽選枠が少ないからあきらめてしまって、出るのをやめてしまうところが出てくるのではないかと思います。高齢化も進んでいますし。

小高 関東は選考委員が「○」を付ける方法を今でもとっているの？

司会 大まかに優劣をつけて、優秀な団体の中から抽選という形をとっています。

(事務局長から他の8県の状況を報告)

北川 埼玉は、選考を取り入れるが、抽選で行く団体も従来通り確保したい。この辺が落とし所なのかと考えています。

小高 平均年齢も考えてほしいですね。80代も30代もおかあさんなので。

田尻 私はシルバーコーラス大会をそろそろ考えてもよいと思うんだよね。他県で出場したが雰囲気良かったです。一番感動したのは、ある合唱団で15人のメンバー全員が杖付きながら出てきて、歌っていたんです。

司会 来年山梨県で行われる国民文化祭で、シルバーコーラスフェスティバルがあるので県連から推薦してほしいと言われましたが、埼玉は「シルバー」の定義づけをしていないので、推薦しにくいという結論になったんです。

小高 自己申告でいいんじゃない。「私たちはシルバーです」って。70歳代がたくさんいますから。そうすれば高齢者がもっと生きてくるんじゃないかな。

北川 顧問の大岩先生からも、シルバーコーラスについてはぜひ検討してほしいと言われたことがあります。

宮寺 話は戻りますが、これだけアンケートをとって、他県の現状などもふまえて決まってきた方向性ならば、次年度から始めてみれば良いのかなと思います。(抽選と選考) どちらの考えも大事にしてあげたいですね。

そのほかの事業について

司会 そのほかの事業について、お気づきの点があればお伺いしたいと思います。

田尻 東京都連にも関わっていて良いなと思うことが、合唱祭で「パスポート」を作っていること。こんなに小さくて(手元のA4用紙を4分の1に折りながら)、何月何日はどこの団が出演ということが書かれていて、いわゆる音楽会のチラシのようなものですが、各合唱団にたくさん配られています。もう一つは、講師ですが、東京は8人位いるんです。1日を何時から何時までと細かく区切って。結構みなさん真剣に聴いて、いい評価をしています。



小高 全合唱団に講評を書かせていますよね。感じたことを書きなさい、というのをやっていますよね。

田尻 そうそう、最後に係の人が合唱団ごとに切ってお返しする。比較的みなさん楽しんでますよね。あとは名刺交換会もやっている。5枚か10枚位集まると、連盟で用意したボールペンとかがもらえるお土産付きで、結構おもしろいですよ。

宮寺 この前のSVECで初試みだった優秀団体演奏はどうでしたか？

北川 演奏団体も良い機会だったと言ってくれましたし、観客の方も良い反応でした。

宮寺 良い反応だったのなら、コンクールでもやってほしいです。良い演奏をする団体がいっぱいあるのに、聴いてないですよ。以前からもったいないなと思っていました。

小高 川越市に新しいホールができたなら^(※)、金賞団体全部集めてやりたいなと思ってます。

宮寺 もう一つ、おとうさんコーラス・おかあさんコーラスも、実力をつけてきた団体が多いですから、以前やった「パス&ママス」(おとうさん・おかあさんコーラスが交互に出演するフェスティバル) のような大会があると良いですね。さっきの名刺交換会ではないですけど、楽しみが増えるのかなと思います。これから高齢化もさらに進んでいくでしょうから、コンクールとは違った楽しいイベントがあったら、気楽に出られて良いのかなと思います。

小高 そういう大会があればおとうさんたちは張り切るよ！

司会 関東おとうさんコーラス大会といえば、各県持ち回りになって何年か経ちますが、埼玉では毎年秩父で独自の男フェスをやっているため、関東への参加が少なくとお叱りを受けているんです。平成26年度に埼玉で関東おとうさんコーラス大会が開催されますので、そのときに、県の大会とどうリンクさせていくか、考えていかなければと思っています。

これからの埼玉県合唱連盟は…

司会 最後に、合唱をより盛んにするため、連盟を発展させるために、これまでのお話の内容も含めて、何かご提言いただければと思います。

小高 高校へ教えに行つて(卒業する時に)「大学へ行つても合唱やるんだぞ！」と言うんだよね・・・卒業してからどこ行っちゃうのやら。

司会 東京の大学に行って続ける人もいますよね？
小高 そうだね。ただ放っておくのではなく、道を作ってあげたら。

宮寺 活躍する場所を設けるということですね。

田尻 指導者の問題もあるよね？

小高 そうだね。

田尻 卒業してみんな結構やめちゃうんですね。しかし、女性は結婚して子供がかなり成長してくると「また歌いたい」と戻ってくるんです。女性と男性はそういうところが違いますね。男性は残業や転勤で継続して続けられない部分があるみたいですね。

小高 3月の終わりに、中学・高校を卒業した子たちを集めて何かできないかな。そこで合唱を続けるよう説得するんだ。宮寺君が。

宮寺 えー！私がその役なんですか（笑）

小高 埼玉県の中高生はたくさんいるのにもったいない。北川理事長はどうですか？

北川 一歩進めて、連盟が主体となって作るということですね。

私は地元（深谷市）で、少年少女合唱団を作りました。音楽連絡協議会という団体が主体となって市内の小中学校に募集の



案内を出して、今50人位集まっています。

小高 きっかけをつくってあげるっていうのは大切だね。何か考えていただけたら嬉しいなと思います。

宮寺 お客さんをどうとりこむかですね。もっともっと知ってもらうためのPRをしたいですね。合唱祭もそうですが、コンクールも。一般市民に合唱を聴いてもらうチャンスを作るための働きかけも大事かと。1番クジを引いてしまうと誰も聴いていないのではもったいないです。例えばコンクール高校部門は一番から中学生が大勢聴いているとか。中学生は高校部門が無料とか。いずれはおかあさんコーラ

ス大会の座席指定をなくしても席が埋まるほどの集客を目指したいですね。この間のSVECも「一般の部はこれしかないの!？」と思って見ていました。

司会 おかあさんコーラス大会では、プログラム割引券のついたチラシを配るというのを一昨年から始めています。

宮寺 急に増えるというのは難しいけれど、少しずつやっていくことですね。

司会 あとは、のぼりを作って少しにぎにぎしくやろうと。ただ、会館によってはのぼりを出すのがダメな所もありましたが。（笑）このほか、小中学校対象に指導者派遣事業を行っています。（事務局長：延べで40校くらいです）県の事業で旅費を補助するものがあるので、それを利用すれば、学校側は全然お金がかかりません。

宮寺 先生方も勉強になっているようですね。

小高 いいことだね～。

司会 では最後に北川理事長に締めていただいてよろしいでしょうか。

北川 貴重なご意見・ご提言をいただきありがとうございます。

全てというわけにはいかないかもしれませんが、できるものから検討し、よりよい合唱連盟になるようにしていきたいと思います。本日はありがとうございました。

（※）川越駅西口、元県立川越図書館跡地に平成26年度オープン予定。客席数1,700席。



第 67 回 関東合唱コンクール

2012年 9月22日(土) 中学校部門同声・混声

23日(日) 高等学校部門A・B

於：さいたま市文化センター

10月14日(日) 大学部門、職場部門、一般部門A・B

於：山梨県／山梨県民文化ホール

今年度の関東合唱コンクールは9年ぶりにさいたま市文化センターで9月22日・23日に行われました。初日の中学校部門は44団体(同声・混声あわせて)、2日目の高校部門は48団体(A・Bあわせて)出場し、どの団体も大変レベルの高い充実した演奏を行っていました。

会場にバスで来られた参加団体は駐車場がなく、不便をおかけしましたが、駅から近く、多くの入場者があり、常時ほぼ満席の状況でした。特に、高校部門では一般入場者であふれかえったため、当日券の販売を停止せざるを得ない事態となり、せっかく来ていただいたのに入場できない方が出てしまいました。防災上やむを得ない措置とはいえ入場できなかった方には大変申し訳なく思っています。

前日の準備から2日目の片付けまでのべ120人を超える方にお手伝いいただきました。参加した他県の顧問の先生から、係の方々へのお礼と埼玉県の合唱熱の高さについて述べられたメールをいただきましたが、係員となって協力していただいた方々には参加者の立場に立って快適に演奏できるよう大変誠実に仕事をしていただきました。

埼玉県合唱連盟は関東9県の中でもっとも加盟団体数の多い県連ですが、多いだけでなく、運営で協力していただいた方、聴きに來てくださった多くの方々など、合唱に対する情熱やひたむきさと言った面でも誇れる、皆様によって作られている連盟と感じています。

今後、埼玉県で行われる関東や全日本の事業は、平成26年度のおとうさんコーラス大会、27年度のコンクール全国大会(中学校・高等学校部門)と続きますが皆様の力で成功させたいと思っています。

(事務局長 宮野 善也)



審査結果

中学校同声	【金 賞】 栄東中学校コーラス部、所沢市立狭山ヶ丘中学校合唱部、 所沢市立向陽中学校コーラス部、ふじみ野市立大井中学校音楽部
	【銀 賞】 秩父市立秩父第一中学校コーラス部
	【銅 賞】 春日部市立春日部中学校合唱部
中学校混声	【金 賞】 春日部市立豊春中学校混声合唱団、春日部市立武里中学校合唱団
	【銀 賞】 所沢市立南陵中学校混声合唱団
	【銅 賞】 所沢市立所沢中学校混声合唱団
高等学校A	【金 賞】 県立松伏高等学校合唱部、県立川越女子高等学校音楽部
	【銅 賞】 県立伊奈学園総合高等学校音楽部
高等学校B	【金 賞】 県立浦和第一女子高等学校音楽部、県立松山女子高等学校音楽部、県立川越高等学校音楽部、 慶應義塾志木高等学校ワグネル・ソサィエティー男声合唱団、星野高等学校音楽部
	【銀 賞】 県立久喜高等学校音楽部、県立浦和高等学校グリークラブ、県立大宮高等学校音楽部
	【銅 賞】 県立熊谷高等学校音楽部、小松原高等学校音楽部
大 学	【銀 賞】 文教大学合唱団コール・リンデ
一 般 A	【金 賞】 La Mer
	【銀 賞】 合唱団amore、クール・ヴァン・ヴェール
	【銅 賞】 合唱団「あべ犬東」
一 般 B	【銀 賞】 Wings

下線の団体は、全国大会出場

第 65 回 全日本合唱コンクール全国大会

2012年10月27日(土)・28日(日) 高等学校部門A・B、中学校部門混声・同声

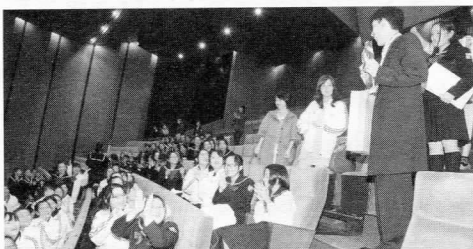
於：鹿児島県／鹿児島市民文化ホール

11月24日(土)・25日(日) 大学部門、職場部門、一般部門A・B

於：富山県／富山市芸術文化ホール オーバード・ホール

**中学校部門同声合唱の部
栄東中学校コーラス部**

**金賞・文部科学大臣賞受賞
埼玉県知事を表敬訪問**



2012年12月18日 埼玉県庁知事室にて



栄東中学校コーラス部

部長 佐藤 栞

関東支部代表として、全国大会への出場が決定した喜びの瞬間は、いまだに忘れられません。昨年の涙をバネにして、誠心誠意重ねた努力が報われた瞬間でした。

ただただ先輩達の後に続いて頑張っていた昨年、一昨年とは違い、今年は自分たちが最上級生として後輩の範となつて導いていく立場になり、戸惑いやプレッシャーに悩み、苦しんだ事も多くありました。そういった一つ一つのハードルを部員全員で力を合わせて乗り越え、少しずつ成長を重ねながら臨んだ今回のコンクールを通して、私たちが得たものはとても大きく、また、かけがえのないものになりました。素晴らしいホールと満員の聴衆の中、私たちの音楽を全国の皆さんに届けられたことは、部員全員の誇りです。

今年選んだ作品と出会ってから半年間、和音の響きを磨き、バランスを整え、ハンガリー語の発音に頭を抱えながら、少しずつ音楽と一体になった気がします。私たち3年生にとって中学校生活くぎりの演奏を迎えるにあたり、自分たちが積み上げた練習を信じ、仲間を信じて、心をついにステージに上がりました。金賞・文部科学大臣賞をいただいた事はもちろんですが、何よりもメンバー全員が笑顔で舞台を降りられたことがとても嬉しかったです。

最後になりましたが、いつも隣で支えてくれた両親、校長先生をはじめとする諸先生方、また、応援していただいた全ての皆様に、心から感謝の気持ちを申し上げます。

ありがとうございました。



左から

田中淳子(校長)、北川 裕(埼玉県合唱連盟理事長)
佐藤 栞(部長)、上田清司(埼玉県知事)
原 桃夏(副部長)、石山 明(顧問)

【中学校部門混声合唱の部銀賞】

春日部市立豊春中学校混声合唱団

部長 恩田ひかり

私たち春日部市立豊春中学校混声合唱団は、今年で6年連続10回目の全国大会出場を果たすことが出来ました。今年は過去最少の人数での挑戦となり厳しいスタートとなりました。日々の練習ではひとりひとりが強い意志を持ち1分1秒の時間を無駄にせず、応援して下さいの方々へ今の私たちが出来ることを考え、必死で練習に励みました。

県大会も関東大会も全国大会もすべて演奏順は1番という条件でした。鹿児島の全国大会では朝1番の演奏順でしたので、午前3時には起床し出来る限りの努力を行いました。奇跡的に集まった仲間と共に全国大会のステージで合唱できる喜びそして「今を生きる力」を魂を込め、全身全霊で表現することが出来ました。私たちが毎日練習でき、この全国大会という素晴らしいステージで演奏することが出来たのは、常にそばで支えて下さる多くの方々のご支援があるからです。沢山の方々の応援があるからこそ掴むことの出来た舞台でした。日々の清掃活動、心の在り方、仲間との絆、そして「^{ことだま}言霊」の存在。すべてが日々の積み重ねと実感しています。これからもいつもそばで応援して下さい沢山の方々へ感謝の気持ちを忘れず練習に励んでいきます。聴いて下さる方が幸せに、そして元気になるような音楽を届けていきたいです。



【高等学校部門Aグループ銀賞】

県立松伏高等学校合唱部

部長 田中ののか

「感謝の気持ちを忘れずに」。私たちは、3年連続5度目の全国大会に出場させていただくにあたり、常日頃からこの言葉を思い、仲間とともに練習に励んできました。

今年度演奏した課題曲と自由曲は、言語も曲調も全く異なり、それぞれの雰囲気を作り出すのに大変苦悩しましたが、聴いてくださる人たちの心に残る演奏を目指し、部員同士で話し合い、時にはぶつかり合い、練習を重ねました。本番では、自分たちの想いがハーモニーに乗って会場全体に広がるよう、精一杯演奏することができました。

しかし、ここまで来ることができたのは、私たちを陰で支えてくださった先生方や、いつも励ましてくれる家族がいるからです。この大会を通じ改めて、私たちが歌い続けることができるのは、多くの方々から応援していただいているおかげだと、心から実感することができました。本当にありがとうございました。

今後も皆様への「感謝の気持ちを忘れずに」、私たちは練習に励んでいきたいと思います。



【高等学校部門B グループ銀賞】

県立松山女子高等学校音楽部

部長 岩渕 聖子

私たち、県立松山女子高等学校音楽部は、念願の全日本合唱コンクール全国大会に出場し、銀賞を受賞しました。長い歴史のある本校音楽部にとって、初めてとなる全国大会。経験したことのない大きな舞台上で演奏することができ、大変光栄に思います。



114名と大人数ではありますが、全国大会出場という一つの目標に向かって部員一同、一丸となって練習を重ねてきました。様々な練習の中でも、全身で音楽を表現しようと、皆で歌いながら手を叩き踊ったことは印象に残っています。顧問の吉田みどり先生のご指導の下、始めは息を合わせるのも大変だった私たちでしたが、大きく成長することができました。そして本番では一人ひとりが思い切り楽しんで最高の笑顔で演奏することができました。楽しいときも辛いときも仲間たちとともに乗り越えてきたからこそ生み出せる音楽があるのだと、今大会を通して改めて実感しました。私たちが鹿児島で演奏することができたのはOGの方々、ご支援やご声援をくださった多くの皆様、そしていつも支えてくれた家族のおかげです。ありがとうございました。皆様への感謝の気持ちを胸に、聴いてくださった方に喜んでいただけるような演奏を目指して、これからも練習に励みたいと思います。

【高等学校部門B グループ銀賞】

県立浦和第一女子高等学校音楽部

部長 稲野なつき

今回の自由曲として歌った曲は、東日本大震災を題材とした本校委嘱作品でした。私達は直接被災したわけではないので、この曲をどう表現したらよいのか、はたしてそのように直接被災していない者が、ましてや高校生がこのような題材を扱ってよいのだろうか、と戸惑うことがたくさんありました。しかし、仲間と話し合いを進めていくうちに、自分が見て感じたことをそのまま表現すればよいということに気づきました。埼玉から見た震災を表現することで、きっと新たな意味を持つだろうと思えてからは、迷いはありませんでした。そして、努力の甲斐あって、今回全国大会に出場してこの曲を発表することができました。このことは私達の自信にも繋がりました。演奏が終わった時の感動は今でもよく覚えています。



一方で、他校の素晴らしい演奏を聴いて、私達に足りないものが見えてきました。これからは、部員一同、気持ちを新たに、合唱を心から楽しんで、より良い音楽づくりに励んでいきたいと思います。

第 24 回

埼玉ヴォーカルアンサンブルコンテスト

2013年 1 月18日(金) 高等学校の部

19日(土) 中学校の部

20日(日) ジュニアの部・ユースの部・レディーの部・一般の部

於：久喜総合文化会館

新年の初行事として1月18日(金)～20日(日)久喜総合文化会館にて無事実施することができました。参加いただいた団体の皆様、お手伝いいただきました皆様方、ありがとうございました。参加登録団体数は、高校64団体(昨年と同数)。中学38団体(同マイナス2団体)。ジュニア14団体(同プラス3団体)、レディー11団体(同マイナス4団体)、ユース9団体(同同数)、一般11団体(同プラス1団体)、参加団体数合計147団体(同マイナス2団体)、入場者数も昨年1,227名、今年も1,268名と大規模なコンテストとなりました。これも皆様のおかげです。ありがとうございました。

今年はインフルエンザで欠場となった団体、タイムオーバーの団体などもあり残念でしたが、天候にも恵まれ、ほぼ順調に進んだと思います。

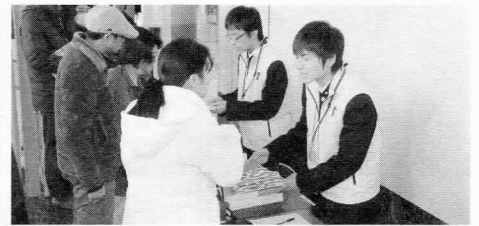
この行事は、現状維持は後退と同じ。という気持ちで先のことまで見据え、コンテストの新しいあり方を考え、多くの皆様に喜んでいただける舞台を作っていきたいと進めてきました。県外の団体や、ジュニアの団体への声かけ、これはそれなりに効果的であったと思います。高校は千葉県の団体が1位でしたが、埼玉も千葉もお互いに勉強になったと思います。

また、優秀団体演奏の実施。初めてでしたが、ブラボーも出るなど面白いものになりました。演奏にご協力いただきました、星野学園中学校、所沢狭山ヶ丘中学校、小松原高校、熊谷高校の皆さんありがとうございました。次回はさらに盛り上げる企画を考えていくつもりです。

アンサンブルコンテストはこの時期の実施、各団体大変であったと思います。本来は小編成の音楽スタイルで行われるべきだとは思いますが、しかし細かいことは気にせず、その団体の状況に応じてステージを楽しめばいいと思います。このコンテストは、各合唱団の状況に応じ、実力向上、運営強化、遊び心でなど様々な利用の仕方をしていただければと思います。

アメリカの人気テレビドラマに、グリーというのがあります。高校の合唱部が悩みを抱えながらも成長していくというストーリーです。アンコンに出るには皆さん様々な問題を抱えながらも、克服してステージに立たれたのだと思います。音楽スタイル、音楽のジャンルなどを問わず、若者であろうが年配であろうが、みんなで歌を楽しんでいければと思います。歌声が溢れる街。そんな素敵な街づくりをしていきましょう。

(常務理事 蓮沼 喜文)



Wings Jr.

団員 井上 美菜

笑顔を忘れずに…

Wings Jr. は発足して2年の、小学1年生～中学1年生35名で活動している合唱団です。初めて参加したコンテストで金賞をいただき、とても嬉しかったです。笑顔を忘れずに舞台の上で思いきり歌えたのは、小鳥の旅のイメージづくりをして、色々な歌い方に挑戦し、くり返し練習したからだと思います。今回はコンテストのため、全員でステージに立てずに悔しい思いをしたメンバーもいましたが、客席から応援してくれてすごく心強かったです。私たちが練習も本番もいつも全力で楽しく歌えるのは、熱心に指導して下さる先生方と両親の応援があつてのことだと思います。これからも感謝の気持ちを忘れずに、たくさん歌っていきたいと思います。

撮影：スタッフ・テス株



第24回 埼玉ヴォーカルアンサンブルコンテスト審査結果

★高等学校の部 (1/18)

【金 賞】幕張総合高校合唱団 (知事賞)、浦和第一女子高校音楽部 (教育長賞)、星野高校音楽部 C (総局長賞)、星野高校音楽部 A、県立川越高校音楽部 A、川越女子高校音楽部、星野高校音楽部 B、小松原高校音楽部 B、松山女子高校音楽部 C、熊谷高校音楽部、栄東高校コーラス部、松伏高校合唱部 A、松山女子高校音楽部 A、松山女子高校音楽部 B、芸術総合高校合唱部、西武学園文理高校合唱部

【銀 賞】県立川越高校音楽部 B、松伏高校合唱部 B、大宮光陵高校合唱団 A、浦和高校グリークラブ B、熊谷女子高校音楽部 A、春日部女子高校音楽部 B、久喜高校音楽部 B、伊奈学園総合高校音楽部、大宮高校音楽部 B、埼玉栄高校コーラス部、大宮光陵高校合唱団 B、小松原高校音楽部 A、川越南高校音楽部、不動岡高校音楽部 A、所沢北高校音楽部、不動岡高校音楽部 B

【銅 賞】小川高校音楽部、さいたま市立浦和南高校音楽部、小松原高校音楽部・小松原女子高校合唱部合同合唱団、春日部高校音楽部、川口市立川口総合高校音楽部、浦和高校グリークラブ A、蕨高校音楽部、春日部共栄中学高校合唱部、大宮高校音楽部 A、開智未来中学高校コーラス部、春日部女子高校音楽部 A、秩父農工科学高校、熊谷女子高校音楽部 B、羽生第一高校コーラス部、秋草学園高校音楽部、秩父高校音楽部

【優良賞】淑徳与野高校音楽部 (奨励賞)、坂戸西高校音楽部 (奨励賞)、川口北高校コーラス部、久喜北陽高校コーラス部、浦和学院高校コーラス部、白岡高校音楽部、花咲徳栄高校コーラス部、誠和福祉高校コーラス部、熊谷西高校合唱部、鳩ヶ谷高校合唱同好会、松山高校音楽部、上尾南高校音楽部、細田学園高校合唱部、川口市立県陽高校音楽部、寄居城北高校コーラス部、

※久喜高校音楽部 A はタイムオーバーにより失格

★中学校の部 (1/19)

【金 賞】栄東中学校コーラス部 A (知事賞)、所沢狭山ヶ丘中学校合唱部 (教育長賞)、星野学園中学校音楽部 (総局長賞)、春日部豊春中学校混声合唱団、ふじみ野大井中学校音楽部 A、栄東中学校コーラス部 B、伊奈小針中学校合唱部、所沢向陽中学校コーラス部、春日部武里中学校合唱団 A

【銀 賞】所沢南陵中学校合唱団、所沢中学校コーラス部、川口戸塚中学校 B、さいたま城南中学校合唱団、春日部中学校合唱部、熊谷富士見中学校音楽部、小鹿野中学校音楽部、浦和明の星女子中学校、熊谷大原中学校合唱部、ふじみ野大井中学校音楽部 B、蕨第一中学校音楽部

【銅 賞】川口青木中学校コーラス部、川口南中学校、加須昭和中学校音楽部、東松山東中学校コーラス部、さいたま宮原中学校合唱部、春日部武里中学校合唱団 B、川口戸塚中学校 A、加須西中学校音楽部、川口西中学校音楽部

【優良賞】久喜中学校合唱部 (奨励賞)、熊谷東中学校合唱部、深谷上柴中学校音楽部、加須騎西中学校音楽部、久喜栗橋西中学校音楽部、秩父影森中学校コーラス部、さいたま宮前中学校

※秩父第一中学校コーラス部、羽生南中学校音楽部は都合により棄権

★ジュニアの部 (1/20)

【金 賞】加須 J. (教育長賞)、Wings Jr. (総局長賞)、さいたま海老沼小学校合唱部 A、所沢フィーニッシュ少年少女合唱団、春日部八木崎小学校合唱団

【銀 賞】日高市少年少女合唱団コーロ・トゥッティ、久喜東小学校「さくらっ子合唱団」、春日部ジュニアコーラス

【銅 賞】歌輪島、さいたま海老沼小学校合唱部 B、学校法人白百合学園栗橋白百合幼稚園

【優良賞】春日部武里西小学校合唱部 6 年 (奨励賞)、深谷市少年少女合唱団、児童合唱団「野うさぎ」

★ユースの部 (1/20)

【金 賞】Paradise Relax (教育長賞)、アンサンブル・シュル フラウエン (総局長賞)

【銀 賞】合唱団amore、Raison d'être、voces kunel

【銅 賞】Canto di Alauda

【優良賞】混声合唱団 獅子 (奨励賞)、MI 混声合唱団

※小松原OB合唱団「ピエロ」は都合により棄権

★レディーの部 (1/20)

【金 賞】コール・マーガレット (教育長賞)、コーラル・デージー (総局長賞)、コール・ドルチェ

【銀 賞】ピアチェーレ、T-Croce、女声合唱団「彩花」

【銅 賞】女声合唱団 コール・秋桜、浦和ブルーコーラス、アンダンテ・ルッツィカーレ

【優良賞】グラツィオーソ (奨励賞)、MION-美音-

★一般の部 (1/20)

【金 賞】ルシアス (知事賞)、クール・ヴァン・ヴェール (教育長賞)、混声合唱団 川越牧声会 (総局長賞)、男声あんさんぶる「ボパイ」

【銀 賞】男声合唱団メンネル A.E.C.、女声アンサンブル Olive、Wings

【銅 賞】コーロ・ルリオ、合唱団「奏」

【優良賞】コーロ・ピアチェーレ (奨励賞)、ヴォーカルアンサンブル未生

下線の団体は関東大会出場

第 2 回

関東ヴォーカルアンサンブルコンテスト

2013年3月17日(日) 小中学校部門・高等学校部門・一般部門

於：和光市民文化センター

コール・マーガレット

代表 望月 令子

『ビリにはなりたくないね』を合言葉に、関東VECに臨みました。思いがけない関東大会への推薦に戸惑いもありましたが、当日はコール・マーガレットらしく楽しく歌えたと思います。結果は11位銅賞でしたが、現在持っている力を出し切ったので、部員一同喜んでいきます。埼玉以外の演奏を聴く機会はなかなかないので、本当に貴重な経験ができたと感謝しています。

現メンバーは年齢差があるにもかかわらず言いたいことが言え、ピッチや発声について全員が前向きに取り組める良い関係です。講評の中に「表現するための発声を考えて取り組みましょう」とありましたので、このテーマをモットーに関東大会での勢いを止めることなく、秋のコンクールに向け頑張ろうと話し合っています。

仲良しおかあさん合唱団として、今後も歌い続けます!!



審 査 結 果

小 学 校 ・ 中 学 校 部 門

【金 賞】 栄東中学校コーラス部
星野学園中学校音楽部

【銅 賞】 所沢市立狭山ヶ丘中学校合唱部

高 等 学 校 部 門

【金 賞】 県立浦和第一女子高校音楽部
星野高校音楽部B

【銀 賞】 星野高校音楽部A
県立川越高校音楽部

一 般 部 門

【金 賞】 Paradise Relax

【銀 賞】 ルシアス

【銅 賞】 コール・マーガレット

Tact vol.15



指揮者 脇田 美保子

この指先に愛を込めて…

ステージに整列した女性達の笑顔が好きです。練習では、「ア～じゃナイ！ ソ～じゃナイ！ 顔が悪い！ ナ～二考えてンノ！！」と口やかましく言われても、ステージの上では皆さん輝いています。オペラがそうである様に合唱も総合芸術だと捉えて欲しい、と会員さんには伝えます。だから、普段の生活のままに人様の前で歌わず、演ずる人であって欲しいと思っています。言葉を、音を、音楽を、感情を、そして雰囲気を感じ伝える努力をして

欲しいのです。

そう言う私の合唱との出会いは…

- ☆ 音楽をそれなりに楽しんでいた三人の兄達に影響されず、ひたすらクラシックバレエに打ち込んでいました。（何せ50余年前の事ですから、今の私から想像しないで！）が、転勤族の父の職業故、中途挫折。仕方なく高校入学と同時に声楽を始めました。ミッションスクールだったので毎年、クリスマスイブにはキャンドル片手に讃美歌を歌いながら市内を廻り、学校に到着すると礼拝堂で〔ハレルヤコーラス〕を奏でます。この時の感動が合唱への誘いでした。
- ☆ 国立音大の三年生で経験したNHK交響楽団との共演。スウィートナーやジャン・フルネの棒で歌えた感動、未だに忘れません。音大には教育科があり、当時〔教育科合唱団全国行脚〕が行われており、私達、他の学部の子生は演奏地域出身者として特別に参加させて貰えました。沢山のステージを経験しましたが、何と言っても指導の先生方の素晴らしさでした。岡本敏明先生、小山章三先生等と当時の合唱界の大御所に受けた教えは、私の合唱の原点ではないかと思います。そして〔合唱の喜びはここに〕という合唱団のテーマを忘れず、合唱愛好者と共に、この指先に愛を込めて演じ続けたいと思っています。

平成25年度合唱コンクール部門再編成について

全日本合唱コンクール大学・職場・一般部門

2013年度から変わります

- ◆大学部門
- ◆職場部門
- ◆一般部門A・Bグループ

(2012年度までの編成区分)

2013年度より

◆大学職場一般部門

- ◇大学ユース合唱の部（8名～無制限、28歳以下）
- ◇室内合唱の部（6名～24名）
- ◇混声合唱の部（25名～無制限）
- ◇同声合唱の部（25名～無制限）

1 大学職場一般部門の編成区分と参加資格

大学ユース合唱の部…出演人数が8名以上で、出演メンバー全員が当該年の4月1日現在28歳以下で編成する合唱団

*出演団体は、出演するメンバー全員の名簿（名前と年齢を記載）を提出する。

*ジュニア（少年少女）合唱団は、この大学ユース部門に出場できる。

室内合唱の部…出演人数が6名以上24名以下で編成する合唱団

混声合唱の部…出演人数が25名以上で編成する混声合唱団

同声合唱の部…出演人数が25名以上で編成する男声合唱団もしくは女声合唱団

◎大学職場一般部門では、同一合唱団は1回しか出演できません。

◎大学職場一般部門には、中学校部門・高等学校部門に加盟する合唱団は出演できません。

2 県大会から支部大会に推薦できる団体数

大学ユース合唱の部

県大会に出演した団体数	3団体まで	1団体
"	4団体～7団体	2団体
"	8団体～11団体	3団体
"	12団体～15団体	4団体

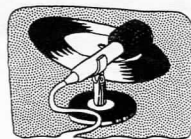
以下これに準じます。

室内合唱の部・混声合唱の部・同声合唱の部

編成区分にかかわらず、次のとおりとします。

県大会に出演した団体数	5団体まで	2団体
"	6団体～10団体	3団体
"	11団体～15団体	4団体
"	16団体～20団体	5団体

以下これに準じます。



第 36 回

全日本おかあさんコーラス埼玉県大会

(第38回おかあさんコーラス埼玉県大会)

2013年3月2日(土)・3日(日) 於：和光市民文化センター

桃の節句と重なった3月2日・3日の両日、和光市民文化センターにて、おかあさんコーラス埼玉県大会が開催されました。あいにく、第1日目は終日強風に見舞われ、会場までの交通機関がマヒするのではと懸念されましたが、なんとか予定通り進行することが出来ました。県大会として第38回を迎え、今回も全国一の参加団体数を誇る76団体の声の競演でした。どの団体も個性あふれる演奏で、あっという間に感じられる素晴らしい2日間でした。

講師の江上孝則先生、源田俊一郎先生には2日間通してお聴きいただき、講評では発声の注意点や発語の要領等をご指摘くださいました。また、源田俊一郎先生は、即興でピアノを弾いてくださり、思いもかけないコンサートに、一同、大感激でした。

今年度、おかあさん部門に登録されている各団に2回ほどアンケートをお願いし、これをもとに来年度より、関東大会への出演方法の見直しを検討することになりました。現行の関東大会出演希望団体から抽選で選出する方法を継続しながら、一部、選考による選出を取り入れて参ります。抽選団体と選考団体の割合、抽選会のタイミング等、これから慎重に検討を重ね、理事会で決定していきます。おかあさんコーラス埼玉県大会がさらに発展し、皆様に愛される大会になるように協議して決定いたしますので、どうぞ、ご理解、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

(常務理事 小島 嘉子)



poco a poco

代表 谷田よし子

「全日本おかあさんコーラス埼玉県大会」に出演して…

団を結成して、はじめての舞台発表の場でした。それもアカペラで…。不安と緊張の中、出来ばえはともかくとして、気持ちよく歌う事ができました。と言うのも、お手伝いの方々の手際の良さ。私共を導いて下さり、とても安心でした。ありがとうございました。感謝です。また、どの団も素晴らしく上手で、楽しんで歌っている姿は聴いている者にも心地良いものでした。

長時間座って聴いているにもかかわらず、少しも苦痛なく楽しめました。また、歌うことに自信もつきました。

参加して良かったと仲間達の声聞き、これを期にまた挑戦したいと思っております。

関係者の皆様、お世話になりありがとうございました。

撮影：スタッフ・テス(株)



＊＊＊それぞれの周年記念＊＊＊

40周年

埼玉第九合唱団

副団長 大 門 力



私ども埼玉第九合唱団は、創立以来、毎年暮れの第九公演のほか、夏にはオーケストラによる合唱の大曲などの自主公演に取り組み、今年40周年を迎えました。

一昨年は東日本大震災が発生し、夏の演奏会が中止になるなど影響が出たものの、昨年はペースを取り戻し、5月にドヴォルザークの「スターバト・マーテル」を、12月には40回目の第九を演奏することができました。また、昨年は40周年に向けて大幅な団員拡大を図るべく、団内にプロジェクトチームを組織し、様々な募集活動に取り組んでまいりました。その甲斐あって40名近くの新入団員を迎え、活況を呈しています。

当団では、40周年という節目の年にあたり、記念演奏会をはじめ次の事業を実施する予定です。

1 記念演奏会（第78回演奏会）を開催する。

日時 7月28日(日)午後2時開演 会場 ソニックシティ大ホール

演奏曲目 ヴェルディ作曲「レクイエム」（今年はヴェルディ生誕200年です。）ほか

2 演奏会をはじめ40年の活動の歩みをデータベース化し、記録する。

3 記念誌を発行するとともに、記念レセプションを行う。

40年もの長きにわたって団活動が継続できたのは、合唱連盟はじめ多くの方々のおかげです。今後も県合唱界発展のために、少しでも貢献していければと考えています。

SAITAMAコーラスワークショップ2013春のご案内

竹内秀男先生、堀 俊輔先生を講師にお迎えします！

★日 時 平成25年 5月12日(日) 10:00～16:15

★会 場 和光市民文化センター 大ホール・企画展示室

★受講料 中学生500円、高校生800円、大学・一般1,000円

竹内秀男先生の講座

◆講座A 「NHK全国学校音楽コンクール 中学校の部」課題曲へのアプローチ
混声・同声の演奏ポイントを、歌いながらアドバイスいただきます。

◆講座B 中学校における合唱指導法（指導者が対象）
中学生の発声指導、指揮法、部活運営など合唱指導のノウハウを伺います。

堀 俊輔先生の講座

◆講座C 「平成25年度 全日本合唱コンクール」課題曲へのアプローチ
モデル合唱団への指導を通じて、演奏のポイントをアドバイスいただきます。

◆合唱クリニック クリニックを希望する合唱団へ直接ご指導いただきます。（3団体）

♪ 私たちの場所

Stage

春日部ジュニアコーラス

代表 本田 尚子

春日部ジュニアコーラスの練習日は毎週日曜日午前9時から正午、会場は春日部市庄和地区公民館音楽室です。9時になると体操係の掛け声で準備運動が始まります。柔軟体操も含めてゆっくり身体をほぐしたら発声そして練習と進みます。練習は明るく楽しくときにはきびしく、アットホームになるよう心がけています。10時と11時に10分ずつ休憩時間を取りますが、団員が倍になったと勘違いするほどにぎやかな時間になります。

創立は平成8年3月。今年18年目を迎えます。指導の基本は「合唱を楽しむこと」また「楽しむために必要な音楽知識を身につけること」です。これからも楽しく活動してまいります。

★

埼玉県合唱祭で「〇〇」をうたう会

指揮担当 磯野 隆一

本会は、男声合唱愛好家が、「年に1回くらいステージで歌ってみたい」と集まって結成される「季節合唱団」です。企画が始まったのは、県民オペラ「秩父晩鐘」初演の翌年1989年。同オペラ合唱団の男声4人が「折角知り合ったのだから一緒に歌える機会が持てたら」と考え、4人のアンサンブルで「柳河風俗詩をうたう会」として合唱祭にエントリーしました。(本番には友人などが加わり8人)。

年に1ヶ月だけ(連休明けから本番まで)の活動で、メンバーは毎年変わります。高校生から70歳代の方まで、常連さんから初参加の人も含めて、多い年は50人近く、少ない年は8人程度。古典から新作まで様々な男声合唱の魅力に迫ります。

★

かすみフラワーコーラス

代表 鈴木 幸代

かすみフラワーコーラスは、昭和41年に川越市霞が関地区の歌の好きなお母さんの呼びかけで結成され、今年で47年目になります。

県合唱祭には第18回から参加し川越市合唱祭、西部地区合唱祭でも発表しております。

毎週木曜日の夜25名の仲間と、根気強くきめ細やかな指揮をしてくださる松本先生、美しいピアノ伴奏で定評のある塩見先生と共に楽しく練習に励んでいます。

今年の10月27日には松本先生に指導していただいている五つの合唱団による第二回「紀の會演奏会」を行う予定です。聴いて下さる方の心に響くハーモニーを目標に、これから沢山の課題をクリアしながら練習を積み重ねていきたいと思っています。

★

コール・グレイス

団長 宮下三枝子

私達が活動している街、熊谷市は県北にあり、春は桜堤、また夏は日本一の暑い街として連日テレビ等で知られていますが、秋には街の南を流れる荒川に映える夕日がとても美しい所です。コール・グレイスは、小学校PTAママさんコーラスを母体として発足し、早いもので14年目になりました。

通常の練習は市内の上石公民館で土曜日の午前中に行っております。熊谷市の音楽連絡協議会にも所属し、春・秋の合唱祭に参加し、いろいろなジャンルの曲を歌い楽しんで来ました。4年前の横須賀でのおかあさんコーラス関東大会出場は、本当に良い思い出になっています。熱血指導の岩田正彦先生、パワフルピアニストの浅野明子先生にも支えられ、益々輝きたい私達です。

★

編集 後記

今年はヴェルディとワーグナー生誕200年。ブリテン100年。プーランクは没後50年。あちこちで記念プログラムが見られます。来年はR.シュトラウスが生誕150年。歌うも聴くも楽しみは続きますね。

(理事 金田 典子)



願いを建てよう。
たとえば気持ちのいい眺めが得られる技術。

思いが広がる。自由が広がる。ポラスの注文住宅。

ポラスの注文住宅 検索

POLUS
住まいの総合サービス